

安全性に関する取り組みのお知らせ 別紙

**2020年2月14日
株式会社ブロードリンク**

現在のお客様からのお引き取り・データ消去の安全性について ²

1. 実施済み

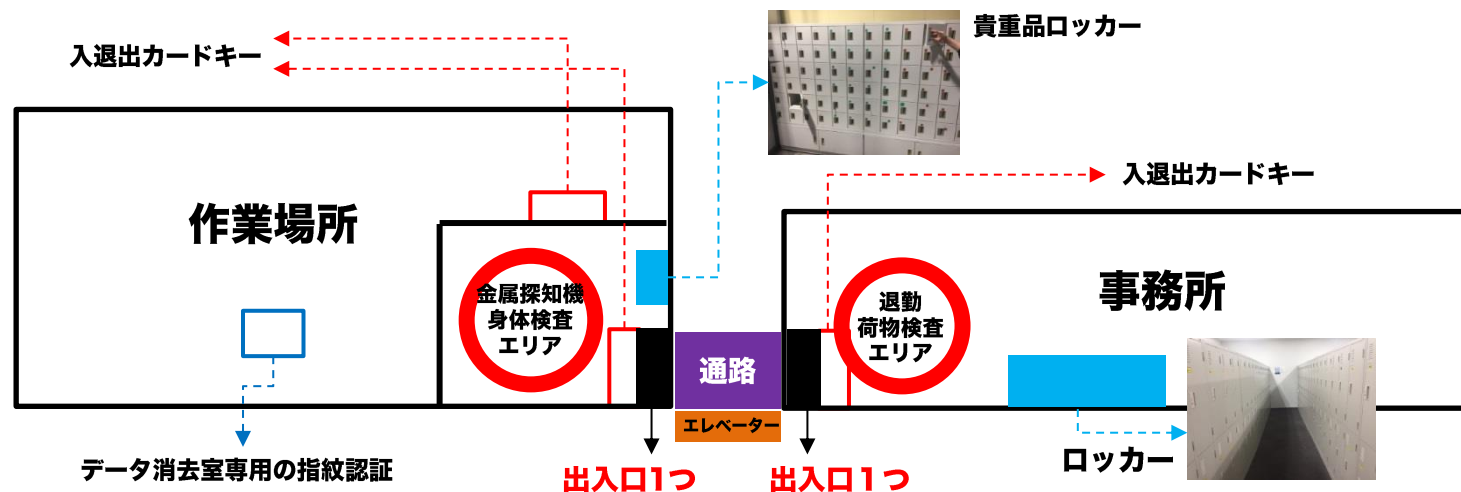
お客様の機器を持ち出せない

作業場所と事務所の出入り口を一つに集約し、金属探知機による身体確認と退勤時の荷物検査により、許可された物以外を施設外に持ち出せません。

許可されたものの以外を施設外に持ち出せません。

テクニカルセンターでは、入館体制の強化と金属探知機による身体検査と手荷物検査を実施しております。これによりお客様のHDD等の記録媒体や小型のUSBメモリまで含めすべての盗難を防止します。

① 作業場所と事務所の出入り口をそれぞれ1箇所に集約



② 開館と閉館の権限限定付与により決められた時間外入館を防止

開館と閉館の権限は決められた管理者のみに付与し、セキュリティカードキーによる開館と閉館を行っております。作業員は決められた時間以外での入館が出来ないため、本件と併せて作業場内のカードキー及び指紋による認証入退出システムと、入退出開館時から閉館時まで実施している各検査により盗難を防止します。



③ 作業場所の出入り口：【すべての入退出時】金属探知機による身体検査

3

1. 金属探知機による作業場入退出時の身体検査
2. 手荷物検査（不適切の工具・不適切な私物は預かり）

正面・背面・側面の全身を
検査員が金属探知機で身体確認。



金属探知機確認と同時に
手荷物も確認。



検査エリアとなる作業場の出入り口には貴重品
ロッカーを常備しており、許可された物以外は
持ち込めません。



開館から閉館まですべての入退出に実施し、履歴を記録しています。
※金属探知機はベルトのバックルや靴の金属部分にも反応する高感度金属探知機を使用。
※金属探知機による身体確認を実施する人が不在になる時間帯はございません。



事務所の出入り口：【毎日】退勤時に手荷物検査

毎退勤時の手荷物検査



バッグを開封し検査員が中身をチェックして確認・記録しています。

2. 実施済み

確実なデータ消去と 明確な履歴を残す

以前はオプションサービスであった「1台毎のソフトウェア消去ログ」「1台毎の物理破壊画像」記録保有を必須としております。

物理破壊前後の写真撮影を必須に。 ソフト消去のログを含め、消去が完了した ことを示す証拠を全て保存。

有料オプションであった実施内容を標準化。PC筐体と筐体から抜き出したHDDの紐付けを行った上で物理破壊。破壊前・後の画像突き合わせを実施し、破壊消去が完了した証明を明確に残します。

① ソフトウェア消去ログ



世界15以上の国際的な機関によって認証・承認を受けている業務用ソフトを使用。そのソフトにより消去が完了した時のみ出力される1台毎の詳細な消去ログデータ。

内容

- ・PCメーカー名
- ・PC型番
- ・PCシリアル番号
- ・HDDシリアル番号
- ・HDDメーカー名
- ・HDD型番
- ・個体管理コード
- ・PCスペック情報

② 物理破壊前・後の写真撮影及び確認

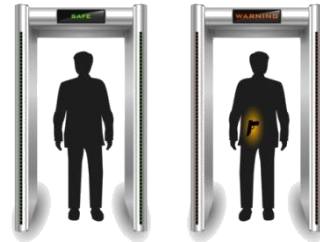


PCから抜き出した全ての記憶媒体に筐体と同一の個体管理コードを貼り付けることで筐体との紐付けを行った上で、破壊前と後の写真撮影と突き合わせを実施

＜現在までに実施及び実施が確定した施策＞

① セキュリティゲートによる身体及び荷物検査 2020年3月10日導入（本部テクニカルセンター）

有人の金属探知機による身体検査を、入退出セキュリティゲート(空港で使用されているものと同様)と警備担当による身体検査へ移行します。



② 監視カメラ増設による死角削除 2020年2月下旬から3月上旬に導入

既に設置済みの32個の監視カメラに加え、死角を削除することを目的にさらに監視カメラを増設します。

③ 入退出口ログ及び監視カメラ映像の突き合わせ 2020年2月開始

週単位で入退出時の監視カメラ映像と入退出口ログ記録を連動させて確認し証拠を残します。

④ お客様立ち会い消去 2020年2月受付開始

弊社テクニカルセンター内でお客様立ち会いの下、データ消去を実施する立ち合いデータ消去サービスを強化します。

パターン1

1. お客様が機器を持ち込み。

2. テクニカルセンター内でお客様立ち会いの下、弊社がHDDを物理破壊。



お客様 弊社
作業員



パターン2

1. 弊社がお客様先に訪問。

2. お客様と現物と数を相互確認の上、セキュリティカーゴ積荷時にお客様が施錠パスワードを設定して回収。(現地で機器のリスト化もご支援)

3. テクニカルセンター内でお客様が開錠し、お客様立ち会いの下、弊社がHDDを物理破壊。



お客様 弊社
作業員



⑤ 現物と数のお客様相互確認 2020年2月開始

6

回収・データ消去等の対象物について、これまでお客様側の機器リストを頂戴できる場合は、回収または入荷処理時にそのリストとの突合せを実施していましたが、今後は正確な機器の受渡を担保するため、お客様側から機器リストを頂戴することを原則とし、回収又は入荷処理時にその機器リストとの突合せを実施します。

お客様機器リスト

№	メーカー	品名	引数日	管理地
1	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0001
2	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0002
3	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1800/4	2009.10.31	2009-01-0003
4	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1800/4	2009.10.31	2009-01-0004
5	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0005
6	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0006
7	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0007
8	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0008
9	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0009
10	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0010
11	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0011
12	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0012
13	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0013
14	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0014
15	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0015
16	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0016
17	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0017
18	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0018
19	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0019
20	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0020
21	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0021
22	東芝	Dynabook Satellite 1850 SA1200/4	2009.10.31	2009-01-0022

現地回収時

リストを元に数量等をお客様と相互確認、又はご報告。承認いただいた上でセキュリティカーゴに施錠し回収運搬。

主な内容
・種類
・メーカー
・商品名
・型番
・種類
・シリアル番号
・お客様管理番号



入荷処理時

現物に個体管理コードを貼り付けて、メーカー、型番、シリアル、お客様管理番号等をリスト化。お客様の元リストと突き合わせを実施。



⑥ セキュリティ・コンプライアンス研修教育 2020年2月開始

弁護士・専門家等によるセキュリティ及びコンプライアンスに関する研修教育を3ヶ月毎に定期開催します。

<導入準備中の施策>

① データ消去映像記録

データ消去において、手元の作業工程をすべて映像で記録することにより、消去証明書と併せて消去工程履歴を映像でも残します。

② 機器リスト作成支援

お客様のお手元に機器リストがない場合には、回収・作業実施前に弊社スタッフのご訪問させて頂き機器リストを作成代行いたします。

③ 電子錠によるカーゴの解錠管理

センター管理者のみが解錠できる電子錠を使用し、セキュリティカーゴをお客様の前で施錠した上で回収運搬を行い、解錠ログを電子的に保存することで安全な運搬・保管を実現します。

推進強化するオンサイト消去サービス

7

お客様敷地内でデータを消去するオンサイト消去（訪問消去）サービスを、従前よりセキュリティを大幅に強化した形で推進して参ります。事前確認・作業員管理・持ち込み品管理・商品現物管理・作業管理・完了報告管理に至るまで、お客様と相互確認の上、お客様敷地内で作業を実施し、当日その場ですべての消去完了の確認と消去証明の提出を実現いたします。

1. お客様先に訪問

- ・作業員事前申請



2. 入館時

- ・身分証明提示
- ・持ち込み品報告
- ・金属探知機身体検査



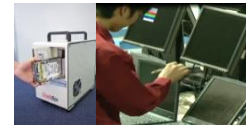
3. 作業開始前

- ・処理要件の相互確認
- ・対象物現物確認



4. 消去作業

- ・PC筐体とHDDの紐付け
- ・破壊前後の写真撮影
- ・ご要望に応じた立ち会い消去
- ・消去データ保存



5. 消去報告

- ・消去証明書提出
- ・お客様現物確認



6. 退館時

- ・持ち込み品再検査
- ・金属探知機身体検査



主な強化ポイント

※予定内容は追加、変更する可能性もございます。

① 作業員の身分証明と徹底した持ち出し防止策

- ・作業員の事前通知と入館時の作業員身分証明の提示及び確認
- ・入退館時の作業ツール持ち込み品の報告及び確認
- ・入退館時の金属探知機による身体検査

② お客様と相互確認の上で現地作業を実施

- ・処理要件のお客様との事前確認
- ・作業開始前の消去及び回収対象物の現物確認
- ・作業完了のお客様確認（現物と消去完了データの確認）



③ 破壊画像及び消去ログ付きのデータ消去証明書を即時発行

- ・PC筐体と物理破壊HDDの紐付け管理及び確認
- ・現地での破壊前後写真撮影と消去ログ保存
- ・現地での消去証明発行及び提出